

様式第9(第5条関係)  
(その1)

令和 5年 4月 3日

新城市議会議長

長 田 共 永 様

氏名 小林 秀徳

令和4年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり  
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和4年度政務活動費収支報告書

氏名 小林秀徳

(会派にあつては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0円	
研 修 費	0円	
広 報 費	211,519円	市政・議員活動報告書(2022年4月印刷代・87,395円), 新聞折り込み代(2022年4月分・9,856円), 市政・議員活動報告書・新聞折り込み代(2022年12月・114,268円)
広 聴 費	0円	
要請・陳情活動費	0円	
会 議 費	0円	
資 料 作 成 費	9,716円	共同使用コピー機リース料コピー使用料 <u>9,716円</u> 円
資 料 購 入 費	0円	
合 計	221,235円	

3 残 額

0 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。  
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

**領 収 証**

令和 4 年 5 月 6 日

小林 秀徳 殿

¥ 9,856-

但し 市政・議員活動報告書 折込代

収 入

印 紙

上記金額正に領収致しました

内 訳	現金		
	小切手		
	振込		

**(株) 三 利**  
〒441-1302 愛知県新 10-8  
TEL (0536) 22-28 5012

**領 収 証**

令和 4 年 5 月 6 日

小林 秀徳 殿

¥ 87,395-

但し 市政・議員活動報告書 印刷代



上記金額正に領収致しました

内 訳	現金		
	小切手		
	振込		

**(株) 三 利**  
〒441-1302 愛知県新 10-8  
TEL (0536) 22-28 5012

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

領 収 証

令和 4 年 12 月 29 日

小林秀徳 殿

¥ 114,268 -

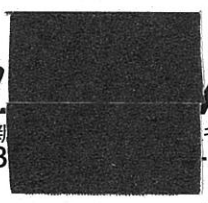
但し 政務活動料

上記金額正に領収致しました

内 訳	現金		
	小切手		
	振込		

(株)エ  
〒441-1302 愛知県新  
TEL (0536) 22-28

刷  
キ10-8  
5012



(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する



# 心の通う輝ける新都市を目指して

## 市政・議員活動報告書

No.1  
2022.  
4月

発行 小林ひでのり  
連絡先 〒441-1615  
新都市大野字横町12番地  
Tel.0536-32-0295

### 新都市議会議員 小林ひでのり



所属委員会 経済建設委員会 / 予算決算委員会 / 広報公聴委員会

#### 団体加入

- ・新城ライオンズクラブ
- ・新都市社会福祉協議会登録  
ボランティア団体新城お助け隊



#### 初当選のご報告

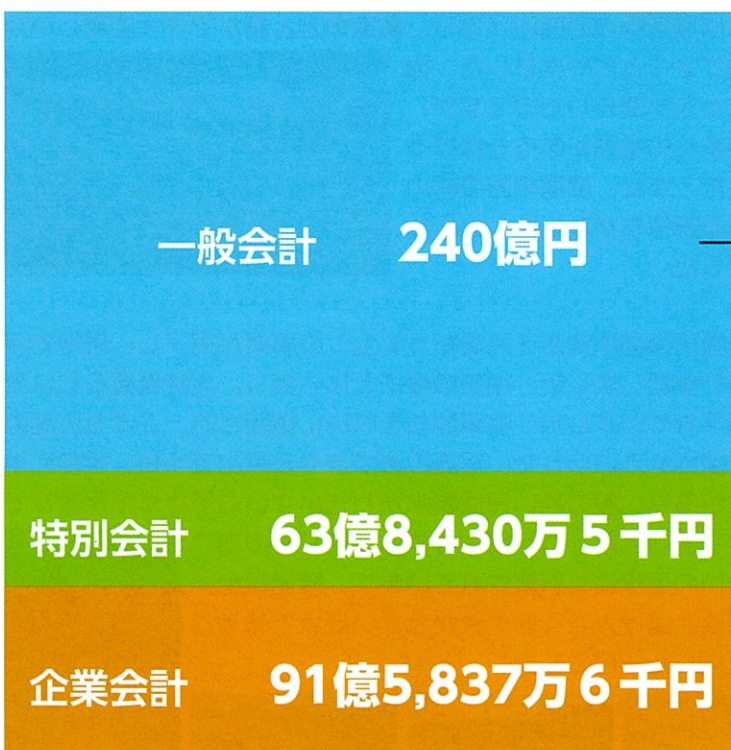
2021年10月31日施行、新都市議会議員選挙において皆様からの厚いご支援をいただき、初当選させていただきました。議員としての第一歩を踏み出し、早半年が過ぎその責任の重さをひしひしと感じております。

『初心忘るべからず』という気持ちで何事にも立ち止まることなく前向きに進んでまいりたいと思います。今後も、地域の皆様の声を聴き、意見を最優先し政治活動に取り組んでまいります。

さて、昨年12月市議会定例会、本年3月市議会定例会が2度開催されました。それぞれ一般質問をさせていただきましたので質疑応答の一部を抜粋して、まとめのご報告とあわせて令和4年度新都市予算の概要等の報告となります（議会しんしろ No.70令和4年2月発行・No.71令和4年5月発行予定と併用してご覧ください）。

### ◆ 市民とともに歩みだす第一歩 令和4年度予算 ◆

予算総額 **395億4,268万1千円**



※一般会計240億円における主な歳入は

市 税	70億8,500万円 (前年比0.6%増↑)
地方交付税	64億円 (前年比14.3%増↑)
地方消費税 交付金	11億1,200万円 (前年比8.7%増↑)
国庫支出金	17億9,357万2千円 (前年比3.5%増↑)
県支出金	15億7,024万7千円 (前年比12.2%増↑)
市 債	25億400万円 (前年比7.6%減↓であり 歳入依存度は1.5ポイント減↓で 10.4%となっている)

※一般会計については、国の令和3年度第一次補正予算をうけ、新型コロナウイルス感染症対策費用を1億3,334万6千円計上し、3月市議会定例会において令和4年度予算で可決された。現在241億3,334万6千円となっている。令和3年度第一次補正予算を令和4年度と一体的に編成し、いわゆる「16か月予算」の考え方により、切れ目なく万全の財務政策を行うこととする為。



## ◆ 12月市議会定例会、本年3月市議会定例会を終えて ◆

### 一般質問 まとめ

地域の皆様の関心がもっとも多かった、現在の鳳来総合支所、旧総合庁舎、開発センター等を集約して新築する鳳来総合支所等整備事業について市の認識と方針を伺いました。

**答** 建設工事の進捗状況については、基本設計、実施設計が完了。敷地造成工事もほぼ終了し、1月26日に建設工事の起工式を終え、現在は建物の建設に向けて工事を進めています。整備の内容は、契約金額9億3,830万円で鳳来総合支所建設工事、防災倉庫建設工事、西館（鳳来保健センター）改修工事等を行い、開所については令和5年5月を目指しています。

現鳳来総合支所敷地の跡地活用については、地域住民の方々とともに検討する必要があることから、鳳来総合支所周辺地域総合開発計画策定委員会を開催するとしています。このことを実施するにあたり計画書では、移住定住を促進するため魅力ある住宅地整備の検討や長篠地域の利便性を向上させるため、商業施設等の生活機能確保をとし、鳳来地区の地域中心核としてニーズの高い食料品店等の誘致も視野に入れ人口の集積を進める地域の開発を目指すとしています。

庁内検討においては、本年1月より毎月開催し、総務部 資産管理室、企画部 企画政策課、自治振興課、産業振興部 商工政策課、建設部 都市計画課より主査以上の職員各1名を、鳳来総合支所からは支所長、地域課長、副課長2名を選任し、跡地の活用にあたって法令等を含め課題となる点や対応策などについて検討を重ねていると回答がありました。

今後の会議開催等にあたり、跡地活用については地域住民の方々とともに検討する方針で進めていくとしているので、鳳来総合支所周辺地域総合開発計画策定委員会の会議の内容等を報告していきたいと思っています。

新都市の観光振興について、観光地等における施設等の整備状況及び徳川家康ゆかりの地を見据えた対策としての今後の進め方について伺いました。

**答** 施設等の整備状況については、桜淵公園再整備事業が3月をもって全ての事業が完了するとの報告を受けました（現在は、開園している）。今後の計画として湯谷園地内の板敷や美谷など、市内に多数ある自然景観等の貴重な資源について、地域の声を聞きながら景観保全や安全の両面から環境整備を行っていき、観光の拠点となる施設の適切な維持・管理及び整備は、来訪者の利便性向上はもとより、地域の皆様や関係事業者にとっても愛着や誇りが醸成されるものでなければならないと考え進めていく方針です。

観光地は受け入れる側の意識が大切であり、その為の観光保全・環境整備は欠かせない要点であると感じています。

【どうする家康】の放送開始に向けてのゆかりの地を見据えた対策として、新都市では2月2日に第1回の徳川家康ゆかりの地活用推進会議を開催し、下江洋行市長、新都市商工会の渡辺忠澄事務局長、新都市青年会議所の原田直彦副理事長がそれぞれの考え思いを述べました。また、県では全県域を対象に徳川家康ゆかりの地をPRするための『愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会設立総会』が2月21日に開催され新都市も参加を決めました。今後の展開としては、共通ロゴマーク・ポスター・土産品等の発信について県と連携し対応していきます。

地域での対応としては、武将観光につながる各団体の事業等の活動情報を共有し企画・商品造成を支援し、観光協会、経済団体も、観光資源の充実、観光商品や土産物等の開発、受け入れ環境の整備を担っていきます。

## ◆ 地域の情報発信【活力ある地域づくり】 ◆

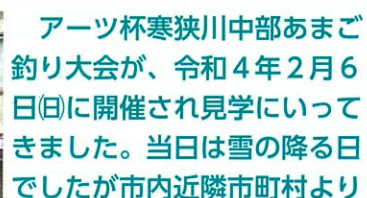
鳳来総合支所建設工事起工式が、令和4年1月26日(水)に行われました。市議会を代表し長田議長は、鳳来総合支所は、地域の皆様の生活基盤として重要な位置づけとなっており、現在のサービスを維持しながら、さらなる質の向上に努め、また、市民の安心安全のための必要な防災拠点の役割を維持しながら皆様の笑顔が集う心の通う、そして元気に住み続けられ、世代のリレーができるまちを協働して作るという理念を、支所が中心となって担っていくことを確信しているとあいさつしました。



奥三河の桃源郷、川売の梅花（かおれのばいか）まつりにいってきました。イベントは、2月26日～3月21日で終了となっています。期間中には農産物の直売所があり、農家の方と話ができて大変楽しいひと時を過ごすことができました。梅の種類などをお聞きしたのですが、こんなに多くの種類があるとはびっくりでした。また、農家の方の梅の木を愛する気持ちがひしひしと伝わってきました。



アーツ杯寒狭川中部あまご釣り大会が、令和4年2月6日(日)に開催され見学にいってきました。当日は雪の降る日でしたが市内近隣市町村より多くの参加者が訪れ、釣り方は、エサの部・ルアーの部・毛バリの部に分けられ、参加者は、一般・レディース・ジュニアの部で競い合いました。一番大きなあまごを釣った方が優勝です。開催にあたり、代表理事組合長の河合良昭さんは、大会に毎年100名超のファンの方がお見えになり感謝しています。今年は、コロナ禍で100名には及ばないけれど継続は力なりをあいことばに、今後も継続して行う意向を伝えました。地域資源を愛し、活用（アウトドアスポーツ）し環境を保全していく上で寒狭川中部漁業組合さんの日ごろの努力に感謝です。



桜淵公園再整備事業が3月をもって全ての事業が完了し、現地で報告会があり参加しました。従来の様子とは一変し、大変素晴らしい公園に整備されていました。駐車場もきれいに舗装され、子ども広場の遊具も新調されていました。写真のあづまやと月山ですが、手前に小さなふたがあり、夏の暑い日は噴水がわき小さいお子さまが水遊びできるようです。また、つり橋もきれいになりその向こうの川沿いの遊歩道も新調されています。観光保全・環境整備は、受け入れる側の欠かせない要点であることを再認識した一日でした。





# 心の通う輝ける新城市を目指して

新城市議会議員 小林ひでのり

所属委員会 経済建設委員会 / 予算決算委員会 / 広報広聴委員会

団体加入  
・新城ライオンズクラブ  
・新城市社会福祉協議会登録 ボランティア団体新城お助け隊

市政・議員活動報告書

2022.12月年末号



## ◆議員活動取り組みのご報告 ◆市民とともに歩みだす第一歩

山々の木々も葉を落とし、すっかり冬景色にかわりましたが、皆様におかれましては、体調をかえずに元気でお過ごしでしょうか。昨年は、皆様からの厚いご支援をいただき議員としての第一歩を踏み出し、早一年が経過いたしました。地域の皆様からの声をいただき、いくつかの課題について共に考え検討し、行政と向き合いながら政治活動に反映させてまいりました。その成果については、すぐに対応できることもありましたが、やはり長期的な課題等もあり、未整備な箇所の問題や危険な道路・交差点の改善等地域の課題を解決するため、今後も粘り強く皆様の声をしっかりと行政へ届けてまいりたいと思っております。

また、皆様から多くの意見や情報をいただき、大変ありがたく思っております。まだまだ、自身としても未熟であり対応についても限定的ではありますが、市の専門部署と連携することで、地域の手となり足となり前向きに取り組んでいきたいと思っております。

さて、前回の活動報告以降、6月と9月に市議会定例会が2度開催されました。それぞれ一般質問をさせていただきましたので質問と答弁の一部を抜粋し、まとめのご報告とあわせて令和4年度新城市予算の概要等の報告となります。(議会しんしろ No.72令和4年8月発行とNo.73令和4年11月発行とを併用してご覧ください)

### ★6月・9月の定例議会においてすべての補正予算が可決されました。【歳出より抜粋し一部をご紹介します】

#### 農作業省力化支援事業(市独自)

30,000,000円

「新しい生活様式」に対応した農業生産を支援するため、国や県の事業で補助対象に該当しない認定農業者(市内)などの方を幅広く対象とし、人との接触機会の減少や密回避、農作業の省力化に繋がる農業機械等の導入を支援するものです。

#### 運送業界支援事業(市独自)

6,312,000円

燃料価格の高騰を受け、貨物自動車運送事業者への経営支援として燃料価格高騰分に対し支援するものです。

#### 学校トイレ洋式化事業(新規事業)

(6月) 17,149,000円

(9月) 121,209,000円

小学校における新型コロナウイルス感染予防対策として、既設和式便器を洋式便器に改修、小便器に自動洗浄装置を設置し、床タイルや既設の便器に特殊洗浄ガラスコーティングの工事を実施するものです。

#### 燃油価格高騰対策支援事業(国庫)

2,731,000円

新型コロナウイルスの感染拡大や国際情勢により燃油価格が高騰する中、国や県の支援策に合致しない経営環境が悪化した茶生産農家に対し、支援金を交付するものです。

#### 学校給食施設改築事業(新規事業)

(6月) 50,632,000円

(9月) 190,707,000円

学校給食共同調理場及び駐車場の造成工事、それに伴う受け入れ校の測量調査等に関するものです。

#### 新城まちなみ情報センター

14,953,000円

外壁の補修工事です。

#### 放課後児童対策事業

3,734,000円

長期休みの利用者増加に伴うクラス増加費用及び新型コロナウイルス感染症対策費用(職員用抗原検査キット等)です。



上記以外にも、市民サービスの維持向上を図るための経費、新型コロナウイルス感染症に関する対策費、当初予算編成後に生じた事情などにより早期に必要なと判断した事業等の予算等も別途計上されています。そのうえで、行政が主体的に取り組む意義や事業の進め方に対し期待するものであり、今後とも一議員として注視し、意見を発信していきたいと思っております。



### 一般質問まとめ

◆6月開催の定例会では、3項目の一般質問をしました。

- ①合併年度の平成17年度から令和3年度に毎年度採用し発行してきた合併特例債について。
- ②新城市の観光振興において「徳川家康ゆかりの地」を見据えた対策として開催された活用推進会議の内容について。
- ③鳳来総合支所跡地の活用に関する庁内検討の内容報告及び今後の施策について。

**答** 合併特例債は、地方単独事業だけでなく、国庫補助事業の地方負担分にも充当できることや、事業費に対する充当率が95%（事業当初における財政支出負担分が軽減できると認識しました）、さらに元利償還金の70%が後年度において（給与費、社会福祉関係費など同様の扱いであると認識しました）普通交付税の基準財政需要額に算入されることなどを含め、財政運営上非常に有利な地方債です。

【新市まちづくり計画】に基づき合併特例債を活用した事業の主なものは、道の駅整備、こども園・小中学校・児童クラブの建設（運動場・空調設備等含）、本庁舎・支所建設、防災行政無線等のほか、令和5年度の完成を目指している鳳来総合支所等整備事業と令和6年度完了予定の学校給食施設改築事業（学校給食共同調理場建設含）です。（合併特例債の発行期限は合併後20年間なので、令和7年度が最終期限となり、事業完了することが不可欠であると認識しました）

3市町村が合併して新たな新城市となり、その為のまちづくり計画が提案され、議会での承認を得て、市民の方の理解・協力をいただきながら多くの事業が進められてきました。提案された事業については、持続可能なまちづくりにとっても欠かせない事業ばかりだと認識しております。今後も採択された事業について積極的に、かつ慎重に進めていくよう発信し、私自身も活動を続けてまいります。



◆9月開催の定例会では、3項目の一般質問をしました。

- ①新型コロナウイルス感染症の後遺症について。
- ②山の湊号の実績と今後の方針について。
- ③鳳来総合支所、跡地の活用に向けた策定委員会会議の内容について。

**答** 山の湊号については、利用者を増やすための施策として、令和3年1月より11枚つづりの回数券の販売を開始し、その実績については大変好調です。現在はさらに伸びており、今後に向けて定期券の導入についても検討を進めています。また、運賃助成キャンペーンの実施（ゴールデンウィーク割、新型コロナワクチン接種割）により、潜在需要の利用拡大にも成果が上がっています。さらに、一般社団法人長久手市観光交流協会とも連携し販売経路の増進を進めています（長久手市内での販売が開始）。利用者アンケートに於いても、91.4%の方から満足との回答があり、その内容については、無料の駐車場があること・到着時間が早く運賃も安いこと・Wi-Fi環境や乗り心地が良いなどがあげられました。

今後期待できる環境変化としては、令和3年10月に新城市、豊鉄バス及びJRバス関東が、それぞれ「道の駅もつくる新城」にバス停を設置し、新城、東京、大阪、名古屋を結ぶ新たな交通拠点となり、今年度においては、中部陸運局による【高速道路に接続している道の駅の拠点・ハブ化実証事業】が行われ、国としても注目をしているとのこと。さらに、11月より長久手市内ジブリパークの開園、来年からNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映、長篠設楽原合戦450年の節目の2025年を迎えることもあり、安定した利用の維持確保に努めるとしました。

努力の甲斐があり、大変良い環境が整いつつあります。地域間主要幹線公共交通機関の役割を担っているという意識を大切に、実施した利用者アンケートを基に地域の方々のニーズを把握する中で、寄り添った対応と、地域の多様な機関とも連携しながら継続して行くことが重要であると考えています。

## ◆ 地域の情報発信【活力ある地域づくり】 ◆



J A 愛知東（海野文貴組合長）による地域貢献活動（役職員によるボランティア活動）の一環として実施されている【こども農学校】の食農体験「四谷千枚田で実施された棚田での米づくり」に市長と参加しました。また、プロバスケットボールBリーグ「三遠ネオフェニックス」の元選手・鹿毛誠一郎さん（地域プロモーション本部長）も素足で田植えに参加されました。



【こども農学校】は、小学校3～6年生を対象とした通年型の食農教育をはじめとする農業体験イベント（4～12月・年10回実施）で、新城有教館高校の生徒も参加し、地元食材の栽培や調理、食農イベントなどをおこなっています。本年度は78名の生徒が入校し、開校18年目を迎え、卒業生はすでに1,000人を突破し、食農分野で活躍する卒業生も増えつつあるようです。こうした経験を通じて食育の大切さ、感謝の気持ちをこれから先も忘れずにいてほしいと願っています。ちなみに私も、微力ながら学級担任を5年勤めさせていただき、思い出に残る生徒も多く、良さ思い出です。

新城市市民まちづくり集會に、議会より企画段階から参加しました。今年で第11回目を迎え、実行委員長 山本青空さんを中心に10名の委員と議会より3名、行政市民自治推進課職員等で進め実施されました。テーマは「旧新城東高等学校の跡地について」。2万坪の好立地な跡地の活用については、市民の関心も非常に高いこと、過去に用地を提供していただいた地元の方の思いもあることなども踏まえ、進めていかなければとの思いでした。市民生活や地域経済を大きく動かし、今後の新城市の在り方にも影響が及ぶ重要な場所であることを考慮し、9月23日「第11回新城市市民まちづくり集會」の開催となりました。当日市民参加者140名と事前アンケート回答者数382名に及び意見の集約がまとめ上げられました。活用について県への報告は来年の3月末が期限であり、現在議会としても各委員会等で検討を重ねています。

写真は、市民まちづくり集會及び事前アンケートでまとめた意見書を、実行委員より市長に手渡したものです。今回、実行委員の皆様には、年配の方の考え方や思い、若い世代の方の考え方など、貴重な意見交換の場を経験させていただきありがとうございました。

